

愛染明王（あいぜん みょうおう）

～怒った顔もステキな仏教界の愛のキューピット？！～



憤怒の表情で煩惱を打ち砕く明王。その中で愛染明王は、全身が真っ赤で人間の悪い考え（煩惱）を全て焼き尽くしてしまわれる有り難いほとけさまです（かなり強そうく怖そうくです）。愛染明王には他のほとけさまには無い特徴がいくつかあるので、楽しみながら覚えましょう(^_^)♡



逆立つ髪の毛に憤怒の表情、頭上には怖そうな獅子がのっています。

ぬりえ
チャレンジ

6本のそれぞれの手には、蓮華や五鈷杵、五鈷鈴、宝珠といった持物のほかに、「弓」と「矢」を持つているのが一番の特徴といえます。



愛染明王は、絵画でも彫刻でも必ず座った姿（坐像）であらわれ、蓮華座の下には、大きい壺のような宝瓶（ほうびょう）が付きます。

宝瓶の周りに描かれる玉や法輪（輪宝）、貝は宝瓶からあふれ出した宝物をあらわしています。

琵琶湖文化館webサイトでは、滋賀につたわる様々なほとけさまや神さまを多数紹介しています！



メールはコチラから！



描いた「ぬりえ」をメールか郵便で送付すると、琵琶湖文化館のウェブサイトで紹介されます。気軽にチャレンジしてみよう！